

講 義 要 項

授業科目		臨床判断の基礎		担当者	山本 美豊子	
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後	
	1 単位	15 時間	講義・演習		1年次・後期	
授 業 目 標						
臨床判断のプロセスや臨床判断を構成する要素の理解をし、看護実践を行うための思考の基盤を作ることができる。						
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法	
1. 臨床判断とは	1. 臨床判断の概念を理解し、タナーの臨床判断モデルが理解できる。	1. 臨床判断の定義 1) 臨床判断と臨床推論 2) 臨床判断における5つの結論 2. タナーの臨床判断モデル 1) 臨床判断モデルの4つのフェーズ 2) 「気づく」「解釈」「反応」「省察」のフェーズの理解	2		講義	
2. 看護師が気づくこと・看護師らしく考えるとは	1. 看護職者としての気づきの大切さや状況の解釈をするときに用いる批判的思考について理解できる。	1. 「気づき」のトレーニング 1) 事例を用いたグループワーク 2) 事例の状況理解のための解釈 2. 看護師らしく考えるためには 1) 熟達のモデル 2) 思考発話	2		講義 演習	
3. 批判的思考とディスカッションの重要性	1. 批判的思考を用いた解釈の実際やディスカッションの重要性について理解できる。	1. 「解釈」をするときに用いる批判的思考とは 1) クリティカルシンキング 2) 解釈の種類 分析的推論 直観的推論 説話的推論 2. ディスカッションの重要性 1) プレブリーフィングとデブリーフィング	2		講義 演習	
4. 反応をみる	1. 事例をもとに必要な看護を考え、実践できる。	1. 事例について必要な看護を実践してみよう	4		演習	
5. リフレクションとは	1. 実践した看護を振り返る方法が理解できる。	1. リフレクションのかたち 2. リフレクションの効果 3. リフレクションの実践例	2		講義 演習	
6. 反応を省察する	1. 実践した看護行為の省察・看護実践した結果の省察ができる。	1. 看護実践中の患者の反応の省察 2. 看護実践後の結果についての省察 1) 看護実践をとおして、学んだこと 2) 次回に繋がる看護とは 3) 今後身に付けておく必要がある知識や技術とは	2		講義 GW	
			修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. 配布資料、他					
評 価	1. 単位修得試験、提出物、授業態度を総合的に判断して評価する。					
備 考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。					